

港湾課

港湾課ホームページ <https://www.pref.tottori.lg.jp/kouwan/>

鳥取港湾事務所ホームページ <https://www.pref.tottori.lg.jp/tottorikowan/>

令和7年度 事業費

(単位：千円)

◆ 漁港管理費…………… 1 2 8, 1 4 1	◆ 直轄港湾事業費負担金 …… 1 1 4, 0 0 0
◆ 港湾管理費…………… 5 1 7, 7 9 8	◆ 漁港施設災害復旧費 …… 2 3 4, 0 0 0
◆ 漁港建設費…………… 5 2 0, 6 1 6	◆ 港湾災害復旧費 …… 3 2 6, 1 0 0
◆ 港湾建設費…………… 6 2 9, 8 7 9	◆ 境港管理組合費 …… 1, 6 5 8, 0 0 9
港湾課合計 …… 4, 1 2 8, 5 4 3	

1 港湾の整備

鳥取港

重要港湾「鳥取港」では、近年頻発する異常気象による主要航路(千代航路)・泊地の埋塞や港内静穏度不足、船舶大型化への対応等が課題となっており、抜本的な対策を講ずるため、令和2年11月に港湾計画を改訂しました。現在、港湾計画に基づいて、主要航路切り替え(西浜航路)に必要な防波堤整備、岸壁整備やふ頭用地の整備を進めています。

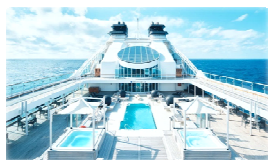
また、令和5年度には航行安全調査を行い、入出港船舶運用マニュアルを改訂し、5万トン級のクルーズ船が寄港可能となるよう体制の構築と係留施設の整備を進め、鳥取港振興会を中心としたクルーズ船の誘致に取り組んでいます。

さらに、取扱貨物量の増加に向けた海運セミナー等を開催し、関係者の機運醸成を図るとともに、鳥取港利活用の可能性がある貨物の掘り起こしを進め、定期航路化に向けても取り組んでいます。

鳥取港は昭和50年に国の重要港湾に指定され、50周年を迎えます。これを機に多くの県民に鳥取港の役割や重要性を知っていただき、産・学・官・民が連携した港周辺エリアの賑わいづくりにつながるよう5月31日に「鳥取港福フェス」を開催することとしています。

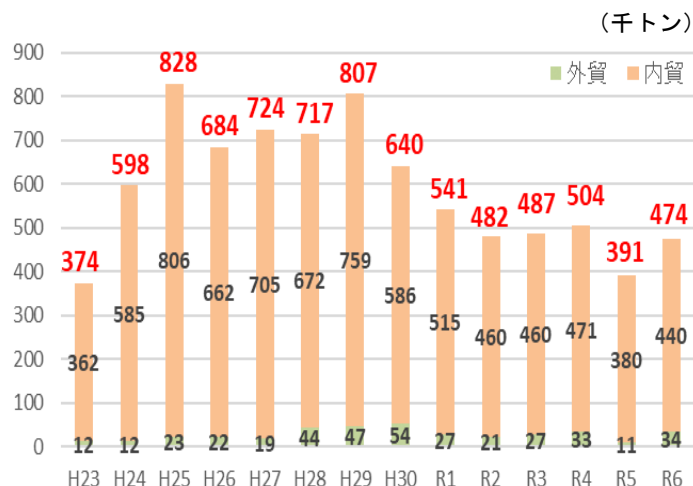


クルーズ船



令和7年11月13日には3万トン級クルーズ客船「三井・オーシャン・フジ」が鳥取港へ初寄港する予定

取扱貨物量

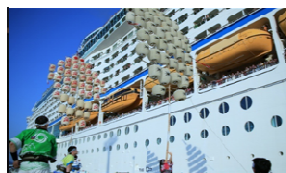


境港

重要港湾「境港」は、平成 23 年 1 月に山陰初となるリサイクルポートに指定され、同年 11 月に国際海上コンテナ・原木・外航クルーズの「日本海側拠点港」にも選定されています。また、近年ではクルーズ船の寄港が増加するなど、北東アジアゲートウェイ「境港」の物流・人流の拠点としての役割が増えています。

平成 28 年 9 月に中野地区国際物流ターミナルの供用が開始され、その後、竹内南地区貨客船ターミナル(境夢みなとターミナル)が令和 2 年 4 月に供用開始しました。令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、クルーズ客船の寄港が全国的に中止とされていましたが、令和 3 年 4 月 16 日に境夢みなとターミナルに邦船クルーズが初寄港し、令和 5 年 3 月からは国際クルーズ船の寄港も再開しました。令和 6 年は、クルーズ船に 31 回寄港いただき、引き続きクルーズ船の誘致に取り組んでいます。

令和 3 年 7 月には港湾計画を改訂し、令和 5 年 7 月にはガントリークレーン 2 号機が供用を開始しました。令和 7 年度には、昭和南地区の新規岸壁が国土交通省事業として整備されることとなり、更なる港湾機能の強化が見込まれています。



地元芸能によるおもてなしセレモニー



クルーズ船長と相撲を取る保育園児



国際フィーダー航路

境港→神戸港経由で世界と接続



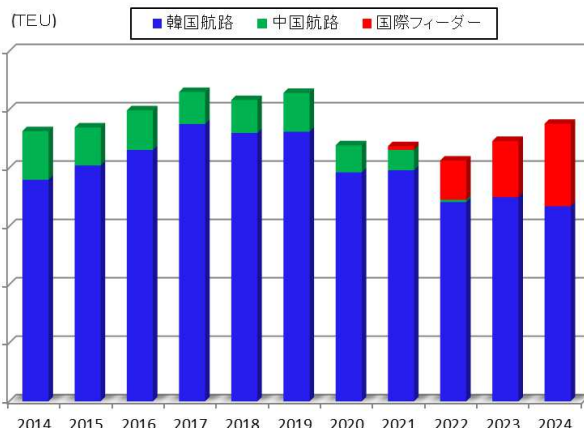
※2023 年 10 月現在。

※最新の航路情報は境港貿易振興会 HP でご確認ください。

取扱貨物量 (境港)



コンテナ取扱量 (境港)



2 漁港の整備

境漁港

境漁港は、まき網漁業、ベニズワイガニにかにかご漁業、沖合底びき網漁業、いか釣り漁業等の沖合漁業を中心とし、水産物取扱量は全国3位（125,654t：令和6年）、金額は全国4位（239.3億円：令和6年）を誇る全国有数の漁港です。

境漁港では、岸壁の耐震化などにより流通の拠点となる防災対応型漁港及び消費者の「安心・安全」のニーズに対応した高度衛生管理型市場を整備し、水産物の安定的な供給と、輸出など漁業の国際化にも対応できる力強い水産業を推進します。



漁港の維持管理

漁港は漁業活動の拠点として、沿岸地域の産業である水産業を支え、水産物を供給する重要な役割を担っています。しかし、建設後数十年が経過し、施設の老朽化が懸念されていることから、定期的に点検・修繕を行い施設の長寿命化に取り組んでいます。

また、しゅんせつ等の維持管理を通じて、地域水産業の支援や円滑な漁業活動の支援を行っています。

